

1 話し言葉と書き言葉の特徴について表に整理しましょう。

話し言葉	書き言葉
<ul style="list-style-type: none"> 音声で表す言葉 すぐに消える 自分の気持ちを表すことができる (声の大きさや上げ下げ、間の取り方) その場に相手がいることが多い 〇言いまちがい 直す、すぐ直せる 〇実物を示しながら、こそあど言葉で表すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 文字で表す言葉 消えずに残る × だれがいつ読むかわからない場合が多い だれが読んでも分かるように書く (共通語、語順、構成)
<ul style="list-style-type: none"> 相手に応じて言葉づかいを選ぶことができる (敬語、方言が共通語かなど) 「ええと」 語順が整わないことも 	<ul style="list-style-type: none"> 字元とはなれる 書き直す、直せない ※誤解をあたえないよう 注意 ① 内容整理 ② 見直し

比較しながらまとめていこう!

2 それぞれの特徴をふまえて、どのようなことに気をつけたいかを書きましよう。(自分なりに気をつけることを書く)

<例1> 話し言葉では、同音異義語もあるから、具体的な場面や説明と入水の方がよいと思う。

<例2> 書き言葉は、すぐ直せないことが多いので、よく見直しをした方がよい。